

里親シンポジウムタイアップ企画



三重県里親啓発公認キャラクター
「みえさとちゃん」



子どもを主体として捉え、
関わる大人、家族のあり方、
関係性に焦点を当てる！

要申し
込み

里親シンポジウム 三重県主催
2019年10月27日(日)13:00~16:00
三重県人権センター 多目的ホール

『子どもにとっての家族とは』
～里親家庭・養子縁組家庭
・ファミリーホームと社会的養育～

子どもが育つために、
そして子どもを育てる上で、
血のつながりは必要なの？

写真展フオスター

写真展プロジェクト「フオスター」を通して、
子どもにとっての家族を考える

家族には カタチ はない

行き来する子どもたち(大人たち)

代替養育、共同養育、ネットワークとしての「家族」

フオスター(著者:白井千晶 写真:江連麻紀
生活書院) より

ありのままの「かぞく」の姿を伝えたい。



【開催期間・会場】

2019年10月24日(木)～30日(水)
9:00～17:00

※28日(月)は休館日に付き開催致しません

会場：三重県人権センター1階ロビー

申し込みは不要です。
自由にご覧ください。

<実施・お問い合わせ先>

(特) 三重県子ども NPO サポートセンター

〒514-0125 津市大里窪田町 2709-1

TEL: 059-232-0270 FAX: 059-232-0271

「フオスター」とは…

2017年夏に開始した日本初の里親家庭・ファミリーホーム・養子縁組家族の写真展とトークイベントのプロジェクト、「写真と言葉でつむぐ フオスター」江連麻紀さん(写真家)、白井千晶さん(社会学研究者)、齋藤麻紀子さん(NPO法人 Umi のいえ代表) 3人によるチーム。ありのままの日常を切り取り、家族とは何かを投げかける。写真展とイベントが全国を巡回中。

(フオスターHPより)